



EEM 複数イベントサポートの Tcl コマンド 拡張

次の表記法が、Tcl コマンド拡張ページで説明されている構文に使用されます。

- 任意の引数は、たとえば次の例のように、角カッコ内に示されます。

[type ?]

- 疑問符 (?) は入力する変数を表します。
- 引数間の選択肢は、たとえば次の例のように、パイプ文字で示されます。

priority low|normal|high



(注) すべての EEM Tcl コマンド拡張について、エラーがあった場合、戻される Tcl 結果文字列には、エラー情報が含まれます。



(注) 数値範囲が指定されていない引数は、-2147483648 から 2147483647 までの整数から取得されません。

- [attribute](#) (1 ページ)
- [correlate](#) (2 ページ)
- [trigger](#) (3 ページ)

attribute

複雑なイベントを指定します。

構文

```
attribute tag ? [occurs ?]
```

引数

tag	イベントを関連付けるために attribute コマンドで使用できる <i>event-tag</i> 引数を使用して、タグを指定します。
occurs	(任意) EEM イベントがトリガーされる前の発生数を指定します。指定されない場合、EEM イベントは 1 回目から発生します。範囲は 1 ~ 4294967295 です。

結果文字列

なし

_cerno を設定

なし

correlate

イベントおよびトラックされるオブジェクトに関連する、1つの複雑なイベントを構築し、ブール値のロジックを使用します。

構文

```
correlate event ? track ? [andnot | and | or] event ? track ?
```

引数

event	スクリプト内で複数のイベント文をサポートするために、 trigger コマンドで使用できるイベントを指定します。 <i>event-tag</i> 引数に関連付けられているイベントが、 trigger コマンドによって指定されて何度も発生する場合、結果は真です。これ以外の場合、結果は偽です。
track	トラックするイベント オブジェクト番号を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 500 です。 トラックされるオブジェクトが設定されている場合、評価の結果は真です。トラックされるオブジェクトが未設定または未定義の場合、評価の結果は偽です。この結果は、オブジェクトの状態には関係ありません。
andnot	(任意) イベント 1 が発生した場合にアクションが実行され、さらに、イベント 2 およびイベント 3 が一緒に発生した場合にはアクションが実行されないよう、指定します。

および	(任意) イベント 1 が発生した場合にアクションが実行され、さらに、イベント 2 およびイベント 3 が一緒に発生した場合にアクションが実行されるよう、指定します。 (注) 「and」を使用して、トラップや syslog メッセージなどのイベントをグループ化した場合、デフォルトのトリガー発生時間枠は 3 分です。
または	(任意) イベント 1 が発生した場合にアクションが実行されるか、または、イベント 2 およびイベント 3 が一緒に発生した場合にアクションが実行されるよう、指定します。

結果文字列

なし

_cernno を設定

なし

trigger

Embedded Event Manager (EEM) イベントの複数イベントの設定機能を指定します。複数イベントは、1 つまたは複数のイベント発生、1 つまたは複数のトラックされるオブジェクト状態、および発生するイベントの時間を起動できるイベントです。イベントは指定されたパラメータに基づいて発生します。

構文

```
trigger [occurs ?] [period ?] [period-start ?] [delay ?]
```

引数

occurs	(任意) EEM イベントが発生する前に発生した合計相関回数を指定します。数が指定されない場合、EEM イベントは 1 回目から発生します。範囲は 1 ~ 4294967295 です。
period	(任意) 1 つまたは複数が発生する必要がある間の、秒単位、および、任意でミリ秒単位での、時間の間隔。これは、sssssssss[.mmm] 形式で指定します。sssssssss は、0 ~ 4294967295 の秒数を表す整数で、mmm は 0 ~ 999 のミリ秒数を表す整数である必要があります。
period-start	(任意) イベント相関ウィンドウの開始を指定します。指定されない場合、最初の CRON 期間の発生後、イベント監視はイネーブルにされます。

delay	(任意) すべての条件が真の場合にイベントの発生後の秒数とミリ秒数 (任意) を指定します (sssssssss[.mmm] 形式で指定します。sssssssss は、0 ~ 4294967295 の秒数を表す整数で、mmm は 0 ~ 999 のミリ秒数を表す整数である必要があります)。
--------------	---

結果文字列

なし

_cerno を設定

なし

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。